

Scanned by USPTO

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JC669 U S 614524 PTO
09/12/00
11/12/00
11/12/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
in this Office.

出願年月日
Date of Application:

1999年 7月13日

出願番号
Application Number:

平成11年特許願第199477号

出願人
Applicant(s):

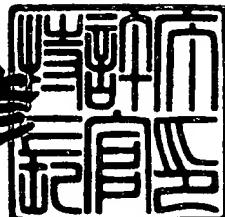
ソニー株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 5月19日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近藤 隆彦



出証番号 出証特2000-3037229

【書類名】 特許願
【整理番号】 9900273106
【提出日】 平成11年 7月13日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 H03M 7/00
【発明者】
【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内
【氏名】 佐藤 正彦
【特許出願人】
【識別番号】 000002185
【氏名又は名称】 ソニー株式会社
【代表者】 出井 伸之
【代理人】
【識別番号】 100067736
【弁理士】
【氏名又は名称】 小池 晃
【選任した代理人】
【識別番号】 100086335
【弁理士】
【氏名又は名称】 田村 榮一
【選任した代理人】
【識別番号】 100096677
【弁理士】
【氏名又は名称】 伊賀 誠司
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 019530
【納付金額】 21,000円

(●) 【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707387

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 記録及び／又は再生装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、
上記記録媒体に記録されているプログラム情報を取り込むプログラム情報取込
手段と、

上記プログラム情報に基づいて、上記記録媒体から再生された信号を処理する
信号処理手段とを有する

ことを特徴とする再生装置。

【請求項2】 上記プログラム情報取込手段は、上記記録媒体上に繰り返し記
録されている上記プログラム情報を取り込む
ことを特徴とする請求項1記載の再生装置。

【請求項3】 記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、
上記記録媒体に付随して設けられ、プログラム情報を記憶する記憶手段から、
上記プログラム情報を読み取るプログラム情報読取手段と、

上記プログラム情報に基づいて、上記記録媒体から再生された信号を処理する
信号処理手段とを有する

ことを特徴とする再生装置。

【請求項4】 入力信号に信号処理を施す信号処理手段と、
上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログ
ラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、

上記信号処理が施された入力信号と上記プログラム情報を記録媒体に記録す
る記録手段とを有する

ことを特徴とする記録装置。

【請求項5】 上記記録手段は、上記プログラム情報を上記記録媒体上に繰り
返し記録する

ことを特徴とする請求項4記載の記録装置。

【請求項6】 入力信号に信号処理を施す信号処理手段と、
上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログ

ラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、
上記信号処理が施された入力信号を記録媒体に記録する記録手段と、
上記記録媒体に付随して設けられた記憶手段に上記プログラム情報を記憶させる
プログラム情報書き込み手段とを有する
ことを特徴とする記録装置。

【請求項7】 入力信号に信号処理を施す第1の信号処理手段と、
上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログラ
ム情報を発生するプログラム情報発生手段と、
上記第1の信号処理手段により信号処理が施された入力信号と上記プログラム
情報とを記録媒体に記録する記録手段と、
上記記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、
上記記録媒体に記録されている上記プログラム情報を取り込むプログラム情報
取込手段と、
上記プログラム情報に基づいて上記記録媒体から再生された信号を処理する第
2の信号処理手段とを有する
ことを特徴とする記録再生装置。

【請求項8】 上記記録手段は、上記プログラム情報を上記記録媒体上に繰り
返し記録し、

上記プログラム情報取込手段は、上記記録媒体上に繰り返し記録されている上
記プログラム情報を取り込む

ことを特徴とする請求項7記載の記録再生装置。

【請求項9】 入力信号に信号処理を施す第1の信号処理手段と、
上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログラ
ム情報を発生するプログラム情報発生手段と、
上記第1の信号処理手段により信号処理が施された入力信号を記録媒体に記録
する記録手段と、

上記記録媒体に付随して設けられた記憶手段に上記プログラム情報を記憶させ
るプログラム情報書き込み手段と、

上記記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、

上記記録媒体に付隨して設けられ上記プログラム情報を記憶する記憶手段から、
上記プログラム情報を読み取るプログラム情報読取手段と、
上記プログラム情報に基づいて上記記録媒体から再生された信号を処理する第
2の信号処理手段とを有する
ことを特徴とする記録再生装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、エンコードデータを記録媒体に記録する記録装置、記録媒体から再
生されたエンコードデータをデジタルシグナルプロセッサ（D S P）を使用し
てデコードする再生装置、及びそれら両機能を備えた記録再生装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来より、例えば磁気テープ等の記録媒体に記録されているエンコードデータ
を再生し、当該再生されたエンコードデータをD S Pを使用してデコードするよ
うな再生或いは記録再生装置が存在する。

【0003】

図8には、記録媒体から再生したエンコードデータをD S Pを使用してデコー
ドする従来の再生装置の概略構成を示す。

【0004】

テープ再生部101には記録媒体としての磁気テープカセット102が収納さ
れており、その磁気テープカセット103内の磁気テープにはエンコードデータ
が記録されている。当該テープ再生部101は、上記磁気テープカセット102
内の磁気テープに記録されているエンコードデータを再生し、その磁気テープか
ら再生された再生エンコードデータをD S P103に供給する。

【0005】

また、R O M（リードオンリーメモリ）105には、D S P103がエンコー
ドデータをデコードするために必要なプログラムデータ（デコーディングソフト
ウェア）が記憶されている。コントローラ104は、D S P103でのデコード

開始前に、上記ROM105に記憶されているプログラムデータを読み出して、DSP103に供給する。

【0006】

DSP103は、上記ROM105から読み出されて上記コントローラ104から供給されたプログラムデータに基づいて、上記再生エンコードデータのデコードを行う。このDSP103にてデコードされたデータは、端子106から後段の構成に送られる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、近年は、様々な異なるエンコード方式が登場してきており、また、従来から存在していたエンコード方式も例えば性能の向上等を目指してバージョンアップが繰り返されている。したがって、デコード方式も、それら様々な異なるエンコード方式やバージョンアップに対応する方式が必要となっている。

【0008】

しかしながら、上述したように、記録媒体から再生したエンコードデータをDSPを使用してデコードする従来の再生装置では、予めROMに記憶されているプログラムデータに基づくデコード方式にしか対応できない。なお、上記異なるエンコード方式や上記バージョンアップに対応したデコードを行えるようにするには、例えばROMを交換或いは内容の書き換えなどの方策が必要となるが、ROMの交換や内容の書き換えを行うためには、所定のサービスステーション等に再生装置を持参しなければならないなど、時間と費用がかかる。

【0009】

そこで、本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、様々な異なるエンコード方式やバージョンアップされたエンコード方式によるエンコードデータであっても、簡単かつ低コストでデコードすることが可能な再生装置、再生装置にてそのようなデコードを実現可能とするための記録装置、及び、それら両機能を有する記録再生装置を提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】

本発明の再生装置は、記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、上記記録媒体に記録されているプログラム情報を取り込むプログラム情報取込手段と、上記プログラム情報に基づいて上記記録媒体から再生された信号を処理する信号処理手段とを有することにより、上述した課題を解決する。

【0011】

また、本発明の再生装置は、記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、上記記録媒体に付随して設けられ、プログラム情報を記憶する記憶手段から、上記プログラム情報を読み取るプログラム情報読取手段と、上記プログラム情報に基づいて上記記録媒体から再生された信号を処理する信号処理手段とを有することにより、上述した課題を解決する。

【0012】

本発明の記録装置は、入力信号に信号処理を施す信号処理手段と、上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、上記信号処理が施された入力信号と上記プログラム情報を記録媒体に記録する記録手段とを有することにより、上述した課題を解決する。

【0013】

また、本発明の記録装置は、入力信号に信号処理を施す信号処理手段と、上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、上記信号処理が施された入力信号を記録媒体に記録する記録手段と、上記記録媒体に付随して設けられた記憶手段に上記プログラム情報を記憶させるプログラム情報書き込み手段とを有することにより、上述した課題を解決する。

【0014】

本発明の記録再生装置は、入力信号に信号処理を施す第1の信号処理手段と、上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、上記第1の信号処理手段により信

号処理が施された入力信号と上記プログラム情報を記録媒体に記録する記録手段と、上記記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、上記記録媒体に記録されている上記プログラム情報を取り込むプログラム情報取込手段と、上記プログラム情報に基づいて上記記録媒体から再生された信号を処理する第2の信号処理手段とを有することにより、上述した課題を解決する。

【0015】

また、本発明の記録再生装置は、入力信号に信号処理を施す第1の信号処理手段と、上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、上記第1の信号処理手段により信号処理が施された入力信号を記録媒体に記録する記録手段と、上記記録媒体に付随して設けられた記憶手段に上記プログラム情報を記憶させるプログラム情報書き込み手段と、上記記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、上記記録媒体に付随して設けられ上記プログラム情報を記憶する記憶手段から上記プログラム情報を読み取るプログラム情報読み取り手段と、上記プログラム情報に基づいて上記記録媒体から再生された信号を処理する第2の信号処理手段とを有することにより、上述した課題を解決する。

【0016】

【発明の実施の形態】

本発明の好ましい実施の形態について、図面を参照しながら説明する。

【0017】

図1には、本発明が適用される第1の実施の形態の再生装置の概略構成を示す。

【0018】

この図1に示す第1の実施の形態において、テープ再生部1には、記録媒体としての磁気テープカセット2が収納されている。

【0019】

上記磁気テープカセット内の磁気テープT上には、図2の(a)に示すような斜め記録トラックRが形成されており、各斜め記録トラックRは、図2の(b)に示すようなAUX(補助)データ領域r1とA/V(オーディオ/ビデオ)デ

ータ領域r2とからなる。ここで、上記A/Vデータ領域r2には、例えばいわゆるMPEG (Moving Picture image coding Experts Group) 方式やディジタルビデオフォーマットなどによりエンコードされたオーディオ/ビデオデータ（例えば映像番組のデータなど）が記録されており、また、AUXデータ領域r1には、AUXデータの一つとして、DSPが上記エンコードされたA/Vデータをデコードするために必要なプログラムデータ（デコーディングソフトウェア）が記録されている。

【0020】

テープ再生部1は、図2に示したような磁気テープT上の斜め記録トラックRに記録されているデータを再生し、DSP3とプログラムデータ抽出部5に供給する。

【0021】

プログラムデータ抽出部5は、テープ再生部1が磁気テープTの斜め記録トラックRから読み取った再生データより、上記AUXデータ領域r1に記録されているプログラムデータのみを抽出し、その抽出したプログラムデータをコントローラ4に送る。

【0022】

コントローラ4は、プログラムデータ抽出部5から供給されたプログラムデータを、DSP3に対して実装する。

【0023】

これにより、DSP3では、上記エンコードされているA/Vデータを、上記プログラムデータに応じてデコードすることが可能となる。当該DSP3にてデコードされたA/Vデータは、端子6から後段の構成に送られる。

【0024】

なお、デコードプログラムは、複数トラックにまたがってAUXデータ領域r1に記録されてもよく、この場合、コントローラ4は、当該デコードプログラムが複数トラックにまたがっていることを判断してDSP3に連続したプログラムとして実装する。

【0025】

図3には、上述のように、磁気テープTの斜め記録トラックR上にエンコードされたA/Vデータと共にプログラムデータを記録する、本発明の第1の実施の形態の記録装置の概略構成を示す。

【0026】

この図3において、端子10にはエンコード前のA/Vデータが入力され、当該A/Vデータはエンコーダ11に送られる。

【0027】

エンコーダ11では、タイミングコントローラ16から供給されタイミング信号に応じて、上記A/Vデータを前述したように例えばMPEG方式やデジタルビデオフォーマットなどの所望の方式によりエンコードし、そのエンコード後のA/Vデータをマルチプレクサ12に送る。

【0028】

また、プログラムデータ発生部14は、上記エンコーダ11でエンコードされたA/VデータをDSPにてデコードする際に必要となるプログラムデータを、タイミングコントローラ16から供給されタイミング信号に応じて発生する。当該プログラムデータは、マルチプレクサ12に送られる。

【0029】

マルチプレクサ12では、上記エンコーダ11からのエンコードされたA/Vデータと上記プログラムデータ発生部14からのプログラムデータとを、タイミングコントローラ16からのタイミング信号に応じてマルチプレクスし、テープ記録部13に送る。

【0030】

テープ記録部13には、磁気テープカセット2が装填されており、上記マルチプレクサ12から供給されたデータを、上記磁気テープカセット2内の磁気テープに記録する。これにより、磁気テープには、前記図2に示したようにAUXデータ領域r1にプログラムデータが記録され、A/Vデータ領域r2にエンコードされているA/Vデータが記録されることになる。言い換えると、マルチプレクサ12では、上記AUXデータ領域r1にプログラムデータが配置され、A/

Vデータ領域r2にエンコードされたA/Vデータが配置されるように、上記エンコードされたA/Vデータと上記プログラムデータとをマルチプレクスしている。

【0031】

なお、デコードプログラムは、複数トラックにまたがるAUXデータ領域r1に記録してもよく、マルチプレクサ12は、デコードプログラムが複数トラックにまたがる場合の書式に従い、エンコードされたデータとデコードプログラムとをマルチプレクスする。

【0032】

上述したように、本発明の第1の実施の形態では、磁気テープT上の各斜め記録トラックR上のAUXデータ領域r1にプログラムデータを繰り返し記録しているため、当該磁気テープを再生する際に、必ずAUXデータ領域r1上のプログラムデータを得ることができ、したがって、例えば磁気テープの任意の位置から再生を開始したとしても、A/Vデータ領域r2に記録されていたA/Vデータのデコードが可能である。

【0033】

なお、プログラムデータが記録される磁気テープ上の記録領域としては、上記図2のAUXデータ領域r1のような特定の領域に限らず、その他の領域、例えば記録データに付随するヘッダ領域などに記録することも可能である。

【0034】

上述した第1の実施の形態では、磁気テープの記録領域上にプログラムデータを記録する例を挙げたが、第2の実施の形態として、例えば、着脱可能な半導体メモリ装置や磁気テープカセットに付随した半導体メモリなどの外部メモリに、上記プログラムデータを記憶させておくことも可能である。

【0035】

図4には、本発明の第2の実施の形態の再生装置の概略構成を示す。

【0036】

この図4に示す第2の実施の形態において、テープ再生部20には、記録媒体としての磁気テープカセット22が収納されている。当該磁気テープカセット2

2内の磁気テープ上には、斜め記録トラックが形成されており、各斜め記録トラックには例えばMPEG方式やディジタルビデオフォーマットなどによりエンコードされたオーディオ／ビデオデータが記録されている。

【0037】

また、テープ再生部20には、例えば、着脱可能な半導体メモリ装置や磁気テープカセットに付随した半導体メモリなどの外部メモリ21が配されている。当該外部メモリ21には、上記磁気テープに記録されている上記エンコードされたA／Vデータをデコードするために必要なプログラムデータが書き込まれている。

【0038】

テープ再生部1は、上記磁気テープ上の斜め記録トラックに記録されている、エンコードされたA／Vデータを再生し、DSP33に供給する。

【0039】

一方、この第2の実施の形態の場合、外部メモリ21に保持されているプログラムデータは、メモリ読取部25が読み取る。メモリ読取部25が外部メモリ21から読み取ったプログラムデータは、コントローラ24に送られる。

【0040】

コントローラ24は、メモリ読取部25から供給されたプログラムデータを、DSP23に対して実装する。

【0041】

これにより、DSP23では、上記テープ再生部20にて磁気テープから再生された、エンコードされているA／Vデータを、上記プログラムデータに応じてデコードすることが可能となる。当該DSP23にてデコードされたA／Vデータは、端子26から後段の構成に送られる。

【0042】

図5には、上述したように、エンコードされたA／Vデータを磁気テープ上に記録し、また、外部メモリ21に上記プログラムデータを書き込む、本発明の第2の実施の形態の記録装置の概略構成を示す。

【0043】

この図5において、端子30にはエンコード前のA/Vデータが入力され、当該A/Vデータはエンコーダ31に送られる。

【0044】

エンコーダ31では、上記A/Vデータを前述したように例えばMPEG方式やデジタルビデオフォーマットなどの所望の方式によりエンコードし、そのエンコード後のA/Vデータをテープ記録部33に送る。

【0045】

テープ記録部33には、磁気テープカセット22が装填されており、上記エンコーダ31から供給されたデータを、上記磁気テープカセット22内の磁気テープに記録する。これにより、磁気テープには、エンコードされたA/Vデータが記録されることになる。

【0046】

また、テープ記録部33には、例えば、着脱可能な半導体メモリ装置や磁気テープカセットに付随した半導体メモリなどの外部メモリ21が配されている。

【0047】

一方、プログラムデータ発生部34は、上記エンコーダ31でエンコードされたA/VデータをDSPにてデコードする際に必要となるプログラムデータを発生する。当該プログラムデータは、メモリ書込部35に送られる。

【0048】

メモリ書込部35は、上記外部メモリ21に対して上記プログラムデータを書き込む。

【0049】

なお、外部メモリ21は、その形式によりプログラムの記録方法が異なる。つまり、マスクROMの場合は半導体製造過程で記録され、フラッシュメモリ、強誘電体メモリ、EEPROMの場合は半導体製造後にそれぞれのメモリ形式に従った記録装置で記録する。

【0050】

上述したように、本発明の第1の実施の形態では、着脱可能な半導体メモリ装

置や磁気テープカセットに付隨した半導体メモリなどの外部メモリ21にプログラムデータを記憶させているため、磁気テープを再生する際に、当該外部メモリ21からプログラムデータを読み取ることで、磁気テープに記録されているA/Vデータのデコードが可能となる。

【0051】

第1、第2の実施の形態では、エンコードされているA/Vデータの記録媒体として磁気テープを使用した例を挙げたが、記録媒体としてはディスク状の記録媒体も使用可能である。

【0052】

図6には、記録媒体としてディスク状記録媒体（以下、単にディスクと呼ぶ）を使用した本発明の第3の実施の形態の再生装置の概略構成を示す。

【0053】

この図6に示す第2の実施の形態において、ディスク再生部41には、記録媒体としてのディスク42が収納されている。当該ディスク42には、同心円状若しくはスパイラル状の記録トラックが形成されており、記録トラックには例えばMPEG方式やデジタルビデオフォーマットなどによりエンコードされたオーディオ/ビデオデータが記録されている。また、このディスク42の特定の領域（例えばディスク最内周など）には、当該ディスク42の記録トラックに記録されている上記エンコードされたA/Vデータをデコードするために必要なプログラムデータが記録されている。

【0054】

ディスク再生部41は、先ず、上記ディスク42の上記特定の領域に記録されているプログラムデータを再生し、そのプログラムデータをプログラムデータ読取部45に供給する。当該プログラムデータ読取部45に供給されたプログラムデータは、コントローラ44に送られる。

【0055】

コントローラ24は、プログラムデータ読取部45から供給されたプログラムデータを、DSP43に対して実装する。

【0056】

次に、ディスク再生部41は、上記ディスク42の記録トラックから、上記エンコードされているA/Vデータを再生し、DSP43に供給する。

【0057】

これにより、DSP43では、上記ディスク再生部41にてディスク42から再生された、上記エンコードされているA/Vデータを、上記プログラムデータに応じてデコードすることが可能となる。当該DSP43にてデコードされたA/Vデータは、端子46から後段の構成に送られる。

【0058】

図7には、上述したように、エンコードされたA/Vデータをディスク42上に記録し、また、当該ディスク42の特定の領域に上記プログラムデータを書き込む、本発明の第3の実施の形態の記録装置の概略構成を示す。

【0059】

この図7において、プログラムデータ発生部54は、上記エンコーダ51でエンコードされたA/VデータをDSPにてデコードする際に必要となるプログラムデータを発生する。当該プログラムデータは、ディスク記録部53に送られる。

【0060】

当該ディスク記録部53には、ディスク42が装填されており、プログラムデータ発生部54から供給されたプログラムデータを、コントローラ56からの制御の元で、上記ディスク42の特定の領域に記録する。

【0061】

また、端子50にはエンコード前のA/Vデータが入力され、当該A/Vデータはエンコーダ51に送られる。

【0062】

エンコーダ51では、上記A/Vデータを前述したように例えばMPEG方式やデジタルビデオフォーマットなどの所望の方式によりエンコードし、そのエンコード後のA/Vデータをディスク記録部53に送る。

【0063】

このときのディスク記録部53では、上記エンコーダ51から供給されたデータを、コントローラ56からの制御の元で、上記ディスク42に記録する。これにより、ディスク42には、エンコードされたA/Vデータが記録されることになる。

【0064】

上述したように、本発明の第3の実施の形態では、ディスク42の特定の領域にプログラムデータを記録しているため、このディスク42を再生する際に、当該ディスク42の特定の領域からプログラムデータを読み取ることで、ディスク42に記録されているA/Vデータのデコードが可能となる。

【0065】

以上説明したように、本発明の各実施の形態によれば、DSPの仕様に合致するエンコード方式（圧縮等の方式）を、エンコードされたA/Vデータと共に記録媒体（或いは外部メモリ）に記録することで、将来開発されるであろう未知のエンコード方式やバージョンアップされた方式にも対応が可能となる。

【0066】

なお、上述した実施の形態では、再生装置又は記録装置を例に挙げたが、記録再生の両機能を備えた記録再生装置にも本発明は適用可能である。

【0067】

【発明の効果】

以上の説明で明らかなように、本発明においては、記録媒体に記録されている信号を処理する際に使用するプログラム情報を、記録媒体内に記録或いは記録媒体に付随した記憶手段に記憶させ、そのプログラム情報に基づいて、記録媒体から再生した信号に信号処理を施すことにより、記録媒体に記録されている信号が、例えば、様々な異なるエンコード方式やバージョンアップされたエンコード方式によるエンコードデータであっても、簡単かつ低コストでデコードすることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の第1の実施の形態の再生装置の概略構成を示すブロック回路図である

【図2】

プログラムデータの記録場所の一例として、磁気テープのAUXデータ領域を使用した場合の説明に用いる図である。

【図3】

本発明の第1の実施の形態の記録装置の概略構成を示すブロック回路図である

【図4】

本発明の第2の実施の形態の再生装置の概略構成を示すブロック回路図である

【図5】

本発明の第2の実施の形態の記録装置の概略構成を示すブロック回路図である

【図6】

本発明の第3の実施の形態の再生装置の概略構成を示すブロック回路図である

【図7】

本発明の第3の実施の形態の記録装置の概略構成を示すブロック回路図である

【図8】

従来の再生装置の概略構成を示すブロック回路図である。

【符号の説明】

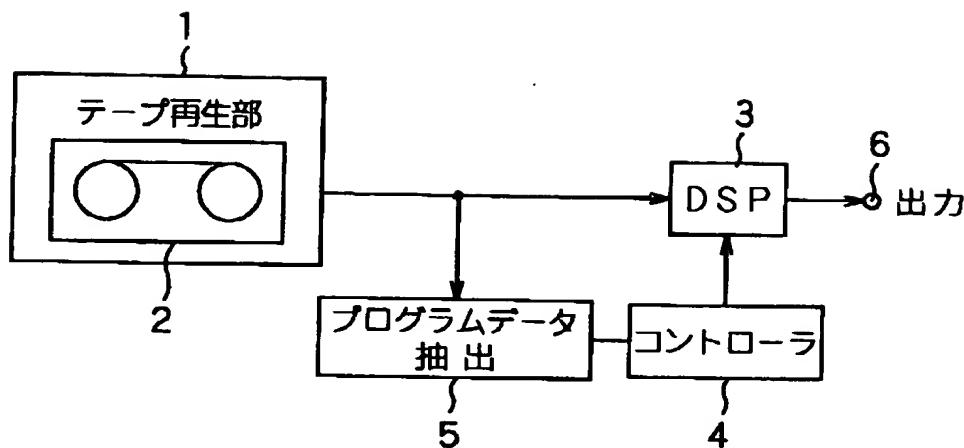
1, 20 テープ再生部、 2, 22 磁気テープカセット、 3, 23, 4
3 DSP、 5 プログラムデータ抽出部、 4, 24, 44, 56 コントローラ、 11, 31, 51 エンコーダ、 12 マルチプレクサ、 14,
34, 54 プログラムデータ発生部、 16 タイミングコントローラ、 2

特平11-199477

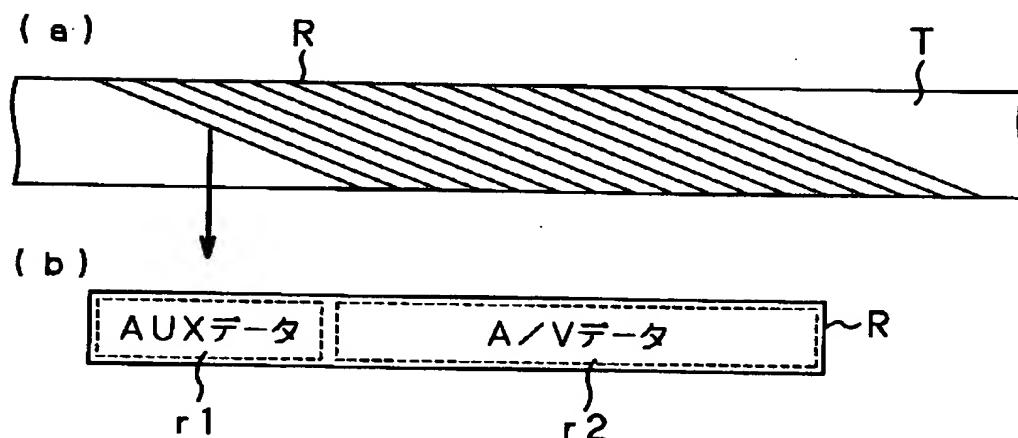
1 外部メモリ、 25 メモリ読取部、 35 メモリ書込部、 45 プロ
グラムデータ読取部

【書類名】 図面

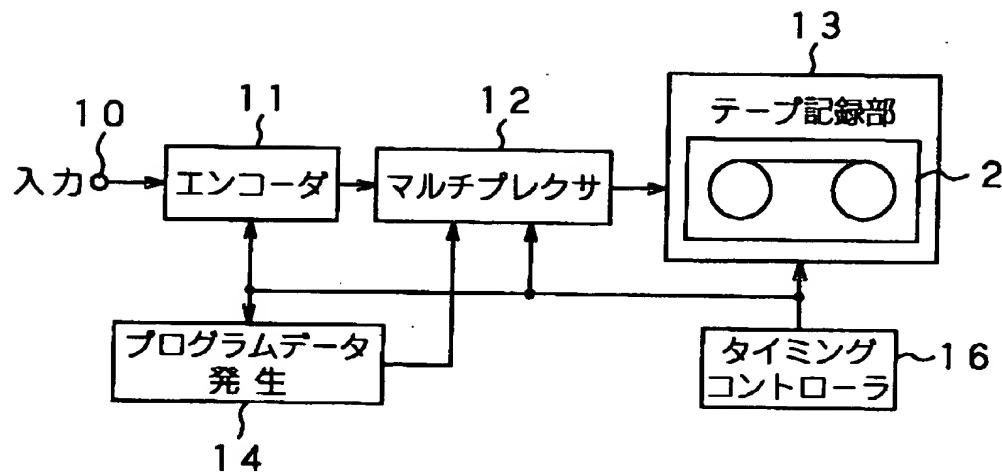
【図1】



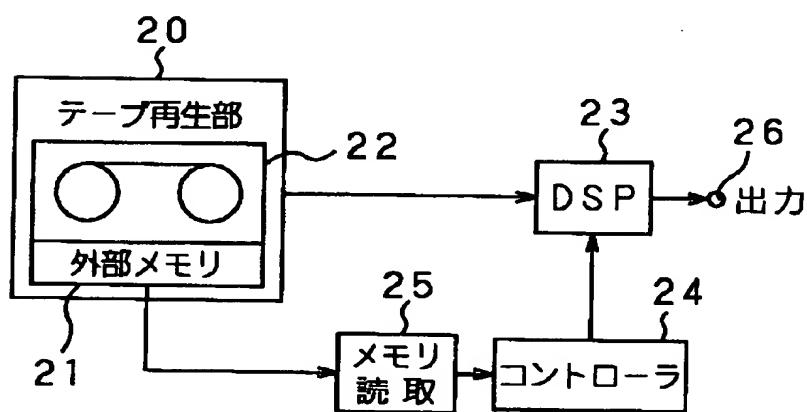
【図2】



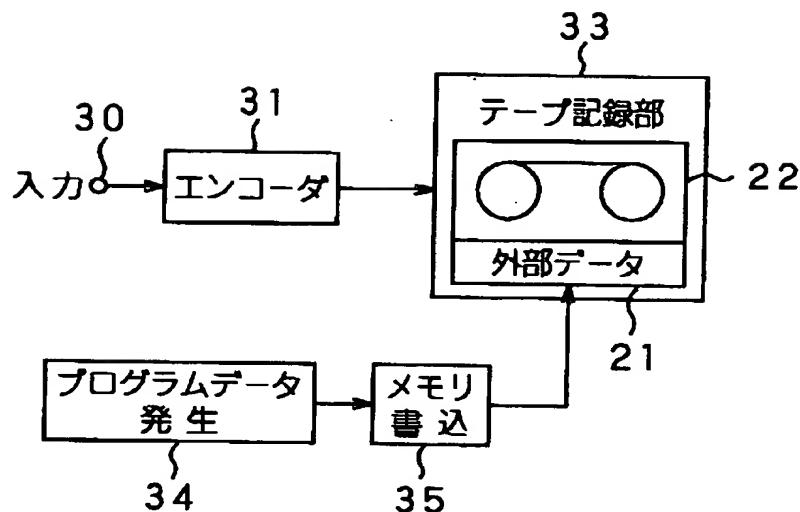
【図3】



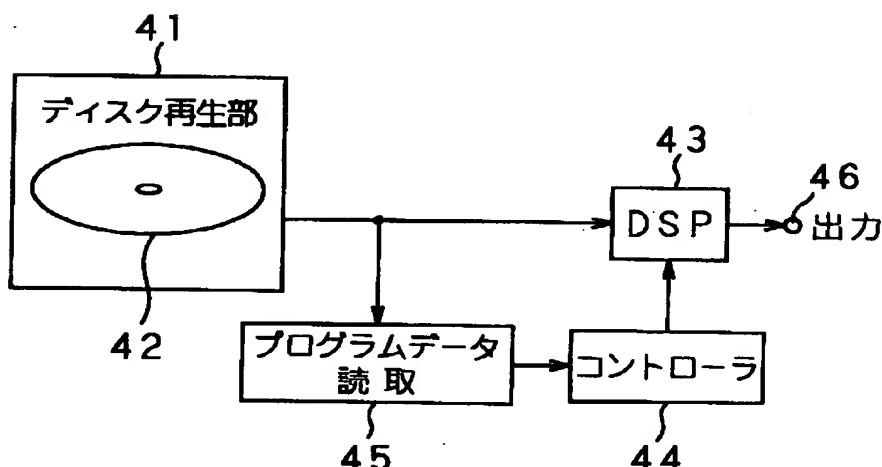
【図4】



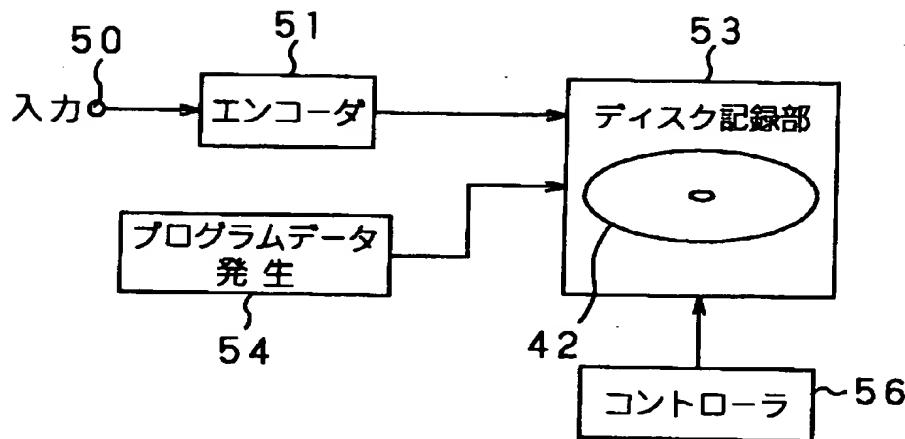
【図5】



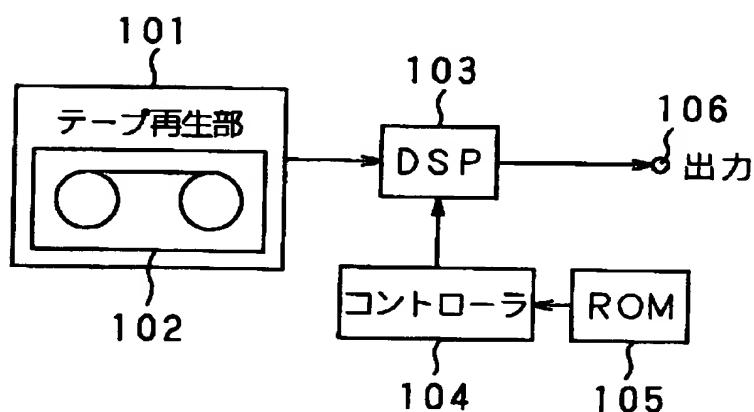
【図6】



【図7】



【図8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 例えば、様々な異なるエンコード方式やバージョンアップされたエンコード方式によるエンコードデータであっても、簡単かつ低コストでデコードすることを可能とする。

【解決手段】 テープ再生部1では、磁気テープからエンコーダされているA/Vデータを再生すると共に、同じく磁気テープに記録されているプログラムデータを再生する。プログラムデータ抽出部5では、磁気テープから再生された信号よりプログラムデータを抽出する。コントローラ4は、プログラムデータをDSP3に実装する。DSP3は、プログラムデータに基づいて動作し、エンコードされているA/Vデータをデコードする。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号

氏 名 ソニー株式会社